

愛媛大学動物実験計画書

愛媛大学長 殿

新規 継続 (変更 あり なし)
(承認番号 00-XX-11-22)

提出年月日平成 年 月 日 受付年月日平成 年 月 日 受付番号

研究課題	マクロファージの△△△が関節炎病態に及ぼす影響
------	-------------------------

研究目的	マクロファージの△△△の分子機能を明らかにし、関節炎の新規治療法開発の手がかりを探索する			
動物実験責任者名	フリガナ シゲノブ タロウ	部 局 名	職	教育訓練受講年月日
	氏 名 重信 太郎 印 tshigenobu@m.ehime-u.ac.jp	〇〇学部△△分野 連絡先TEL:089-960-xxxx	准教授	19XX年〇月△日
動物実験実施者名 (括弧内にフリガナ)	名 重信 太郎 (シゲノブ タロウ) tshigenobu@m.ehime-u.ac.jp	〇〇学部△△分野 連絡先TEL:089-960-xxxx	准教授	19XX年〇月△日
	松山 二郎 (マツヤマ ジロウ) jmatsuyama@m.ehime-u.ac.jp	〇〇学部△△分野 連絡先TEL:	助教	20XX年〇月△日
	東温 花子 (トウオン ハナコ) htouon@stu.ehime-u.ac.jp	〇〇学部△△分野 連絡先TEL:	大学院生	20XX年〇月△日
	() @	連絡先TEL:		
	() @	連絡先TEL:		

申請前に教育訓練の受講必須教員、准教授、助教等

教育訓練の受講必須教員、大学院生等

年度末とする

入手時の品質

実験実施期間	承認後 ~ 平成 〇〇 年 3 月		中止・終了等		成 年 月 日		
飼養保管施設及び実験室	飼養保管施設	動物実験センター, △△分野研究室	実験室	動物実験センター, △△分野研究室			
動物種等	動物種	系 統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考
	マウス	C57BL/6	♀	18	SPF	日本クレア	凍結胚, 精子での入手の場合はその旨を記入
	マウス	KRN TCR	♂	入手済	SPF	〇〇大学	
	マウス	NOD/ShiJcl	♀	3	SPF	日本クレア	
	マウス	LysM-Cre Tg	♂	3	SPF	〇〇大学	
	△△△ flox				Jackson Lab	凍結胚	

複数の動物種の申請可

入手済の場合はその旨を記入
系統が同じでも♂と♀は別の行に

年度内の計画

研究概要	(研究計画と方法について、そのほか) 以下①～③に示すin vitroとin vivoの実験を行う。①関節炎モデルマウスを作製し、xxxxxxやyyyyyyを用いて、関節炎組織と正常関節組織におけるマクロファージの△△△の発現状態を検討する。②マクロファージの培養細胞を用いて、関節炎における△△△の機能について検討する。③マクロファージ特異的△△△ノックアウトマウスを作製し、△△△が関節炎病態に影響を及ぼすか検討する。①～③の結果を総括し、△△△が関節炎治療のシーズとなるか評価する。
研究計画と方法	<p>予定する使用動物数 (種・系統別)</p> <p>C57BL/6 WTマウス 18匹</p> <p>KRN TCR マウス 6匹</p> <p>NOD/ShiJcl マウス 3匹</p> <p>K/BxN マウス 20匹 (KRNマウスとNOD/ShiJcl マウスを交配し繁殖させる)</p> <p>LysM-Cre Tgマウス 3匹</p> <p>△△△ floxマウス 3匹</p> <p>LysM-Cre・△△△ floxマウス 18匹 (LysM-Cre Tgマウスと△△△ floxマウスを交配し繁殖させる)</p>

年度内に使用する予定の動物数を記入、繁殖する場合はその旨を明記、動物入手時の「匹数」、「予定する使用動物数」及び「動物実験の方法」の匹数の整合性に注意

委員会記入欄	審査終了：平成 年 月 日
	修正意見等
	<p>審査結果 <input type="checkbox"/> 本実験計画は、愛媛大学における動物実験規程等に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。)</p> <p><input type="checkbox"/> 本実験計画は、愛媛大学における動物実験規程等に適合しない。</p>
学長承認欄	承認：平成 年 月 日
	<p>本実験計画を承認します。</p> <p>承認番号：第</p> <p style="text-align: right;">愛媛大学長</p>